

会員なんでも調査隊「カーボンニュートラル編」アンケート調査結果

調査期間 2022年7月25日～2022年8月29日（会報7月号に同封）
 調査対象 上越商工会議所の会員事業所
 回答数 116事業所

1. 【質問1】カーボンニュートラルへの理解度について
 貴社のカーボンニュートラルへの理解度について、近いものをご回答ください。

● 十分に理解している	13
● 大まかに理解している	53
● どちらともいえない	16
● あまり理解していない	24
● 理解していない	10



十分理解している	13	11.2	%	56.9
大まかに理解している	53	45.7	%	
どちらともいえない	16	13.8	%	29.3
あまり理解していない	24	20.7	%	
理解していない	10	8.6	%	
	116	100	%	

2. 【質問2 設問①】省エネ、温室効果ガス排出削減等の取組状況について
 現在の省エネ、温室効果ガス排出削減等への取組状況をご回答ください。
 * 該当するものを一つ選択

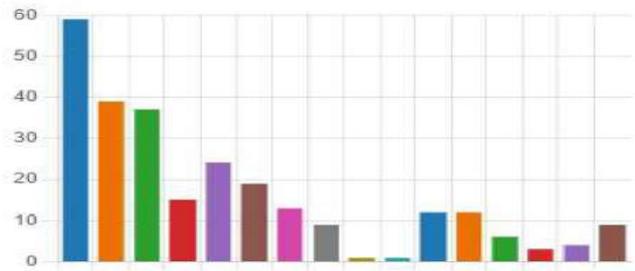
● 取り組んでいる	→ 質問2設...	55
● 検討している	→ 質問2設...	16
● 取り組んでいない	→ 質問3設...	45



取り組んでいる	55	47.4	%
検討している	16	13.8	%
取り組んでいない	45	38.8	%
	116	100.0	

3. 【質問2 設問②】省エネ、温室効果ガス排出削減等の取組状況について
 (質問2 設問①で「取り組んでいる」「検討している」を選択した方への質問)
 取組みの実施・検討内容についてご回答ください。*複数選択可

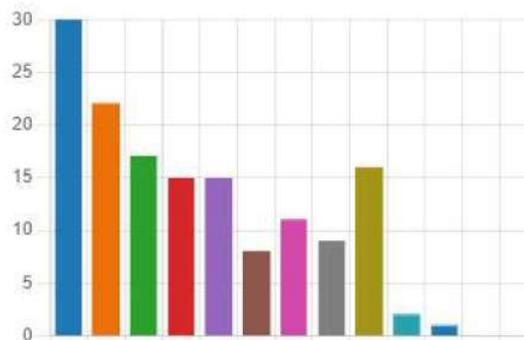
- 省エネ（節電や節水など自社のコ... 59
- クールビズの実施（ウォームビズを含... 39
- 廃棄物の抑制、ペーパーレスの推進 37
- 省エネ、低炭素に資する設備への切... 15
- 就業時間の見直し（ノー残業デーの... 24
- 3 R（リデュース、リユース、リサイク... 19
- 太陽光発電など環境負荷の少ない... 13
- 原材料や取扱商材を環境負荷の... 9
- 省エネ・温室効果ガス削減に関する... 1
- 自社の温室効果ガス排出量の把握 1
- 社員の環境教育 12
- 環境保護・保全活動等への貢献（... 12
- 再生可能エネルギーの導入や切り替え 6
- 担当者もしくは部門の設置 3
- 情報収集の段階 4
- その他 9



省エネ（節電や節水など自社のコスト低減）	59	83.1	%
クールビズの実施（ウォームビズを含む）	39	54.9	%
廃棄物の抑制、ペーパーレスの推進	37	52.1	%
省エネ、低炭素に資する設備への切り替え（電気自動車の導入等）	15	21.1	%
就業時間の見直し（ノー残業デーの実施、業務効率化推進、定時退勤励行等）	24	33.8	%
3 R（リデュース、リユース、リサイクル）の強化	19	26.8	%
太陽光発電など環境負荷の少ない自家発電の導入	13	18.3	%
原材料や取扱商材を環境負荷の少ないものに代替・切り替え	9	12.7	%
省エネ・温室効果ガス削減に関する行動目標の設定	1	1.4	%
自社の温室効果ガス排出量の把握	1	1.4	%
社員の環境教育	12	16.9	%
環境保護・保全活動等への貢献（活動の参加、寄付等）	12	16.9	%
再生可能エネルギーの導入や切り替え	6	8.5	%
担当者もしくは部門の設置	3	4.2	%
情報収集の段階	4	5.6	%
その他	9	12.7	%

4. 【質問 2 設問③】省エネ、温室効果ガス排出削減等の取組状況について
取組みを行う上での課題は何ですか。* 複数選択可

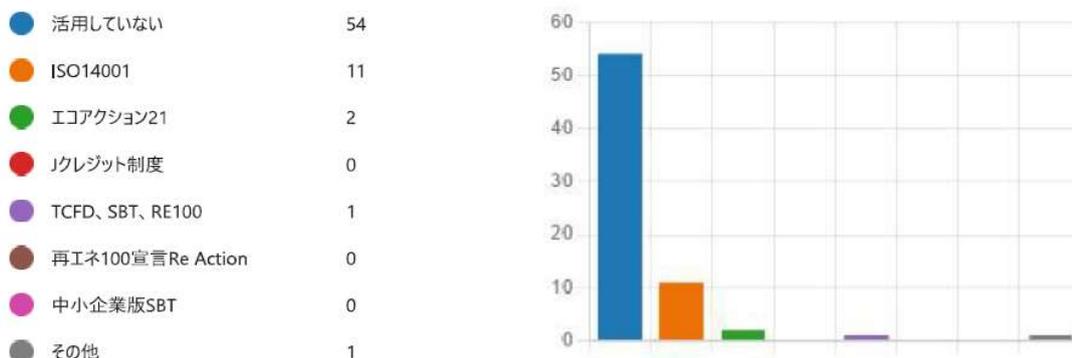
●	取り組むためのノウハウ、専門知識・...	30
●	取組みを推進できる人材の不足	22
●	コストを価格転嫁できない	17
●	ほかに優先すべき項目がある	15
●	コストに見合う効果が見込めない	15
●	温暖化対策に回す資金の不足	8
●	業務量の増加	11
●	どう取り組めば良いのかわからない	9
●	特に課題はない	16
●	必要性を感じない	2
●	取引先や従業員の理解が得られない	1
●	取引先からのCO2削減要請のハード...	0
●	その他	0



取り組むためのノウハウ、専門知識・情報の不足	30	42.3	%
取組みを推進できる人材の不足	22	31.0	%
コストを価格転嫁できない	17	23.9	%
ほかに優先すべき項目がある	15	21.1	%
コストに見合う効果が見込めない	15	21.1	%
温暖化対策に回す資金の不足	8	11.3	%
業務量の増加	11	15.5	%
どう取り組めば良いのかわからない	9	12.7	%
特に課題はない	16	22.5	%
必要性を感じない	2	2.8	%
取引先や従業員の理解が得られない	1	1.4	%
取引先からのCO2削減要請のハードルが高い	0	0.0	%
その他	0	0.0	%

5. 【質問2 設問④】省エネ、温室効果ガス排出削減等の取組状況について

取組みにあたり、エコアクション21、ISO14001等や国内外のイニシアチブ（Re Action、中小企業版SBT等）などを活用していますか。* 複数選択可



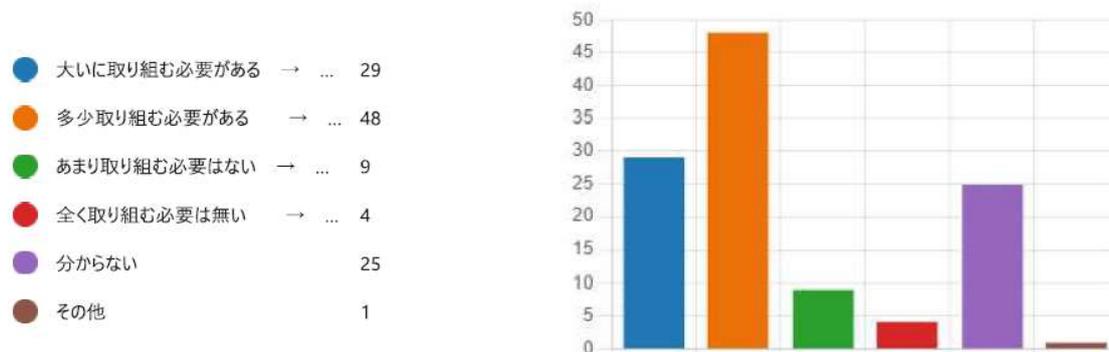
取組み	件数	割合	単位
活用していない	54	76.1	%
ISO14001	11	15.5	%
エコアクション21	2	2.8	%
Jクレジット制度	0	0.0	%
TCFD、SBT、RE100	1	1.4	%
再エネ100宣言Re Action	0	0.0	%
中小企業版SBT	0	0.0	%
その他	1	1.4	%

6. 【質問2 設問⑤】省エネ、温室効果ガス排出削減等の取組状況について

特徴的な取り組みがあれば、自由にご記入ください。

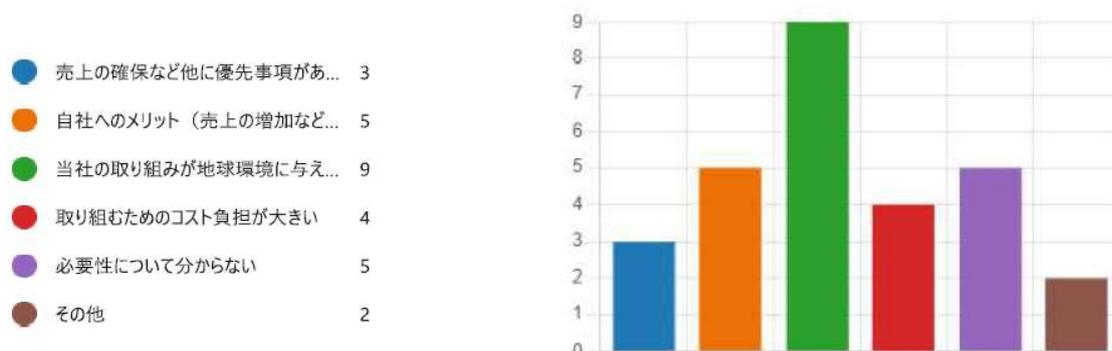
- ・ 環境への取り組みに関して、HPに公開。Scope1,2の2030年カーボンニュートラル達成。
- ・ 徹底した節電
- ・ レジ袋の変更（バイオマスポリエチレン含有）
- ・ 節電効果のある機器への入れ替え
- ・ アルミニウム溶解原料（地金）はその製錬工程で大量の電気を消費します。
当社では水力発電を利用して製錬された地金をグリーンアルミと称し、この使用比率を高めることに注力しています。
- ・ 太陽光パネルの設置（2021年12月）
- ・ デマンド計監視装置の設置
- ・ 当社会福祉法人として、工房利用者と職員が、リサイクル作業として、空き缶・空き瓶回収他、パソコン解体等を行い、資源の有効活動に努めています。
- ・ 電気自動車導入に向けてハイブリッド車を導入
- ・ 社内電灯のLED化
- ・ 窓ガラスのペアガラス化完了（外部気温との遮断効果）
- ・ 新潟県SDGs推進建設企業に登録（R4.2.14）
- ・ 太陽光発電の設置
- ・ 水素精製の取組み

7. 【質問 3 設問①】今後のカーボンニュートラルへの対応について
 カーボンニュートラルに向けた取り組みについて、今後の方向性をどのように考えていますか。
 * 該当するもの一つ選択



大いに取り組む必要がある	29	25.0	%	66.4
多少、取り組む必要がある	48	41.4	%	
あまり取り組む必要はない	9	7.8	%	11.2
全く取り組む必要はない	4	3.4	%	
分からない	25	21.6	%	
その他	1	0.9	%	
	116	100.0	%	

8. 【質問 3 設問②】今後のカーボンニュートラルへの対応について
 (質問 3 設問①で「あまり取り組む必要はない」「全く取り組む必要はない」を選択した方への質問)
 取り組む必要がないと考える理由をご回答ください。* 複数選択可



売上の確保など他に優先事項があり、取り組む余裕がない	3	23.1	%
自社へのメリット (売上の増加など経済的リターン) ・デメリットがない	5	38.5	%
当社の取り組みが地球環境に与える影響は軽微と考える	9	69.2	%
取り組むためのコスト負担が大きい	4	30.8	%
必要性について分からない	5	38.5	%
その他	2	15.4	%